

株主通信

証券コード：6118

Contents

株主の皆さまへ
トピックス
社長インタビュー
連結財務ハイライト
新中期経営計画の概要
会社情報・株式情報

■ 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期(2015年3月期)第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から9月30日まで)の業績、現在の取組とともに、2014年4月よりスタートした新中期経営計画(2017年3月期までの3カ年計画)の概要についてご報告申し上げます。

詳しくは中面をご覧ください。



2014年12月
代表取締役社長

会田 仁一

■ トピックス

ジャガー・ランドローバー英国工場にて本格量産体制開始

前中期経営計画の「顧客の創造」という重点施策のもと、当社は、高級車ブランドのジャガー・ランドローバーグループより、2012年3月期の取引開始以来2年間で大型サーボタンデムラインを3ライン受注いたしました。今回は据付先の各工場の状況についてお知らせいたします。

ヘイルウッド工場(英国リバプール)

2014年3月に引き渡したプレスラインが間もなく量産体制を開始
本工場では、現在好調な売れ行きを記録している
「ディスカバリースポーツ」のボディーパネルを生産予定

ジャガー・ランドローバー奇瑞(中国合弁会社/中国江蘇省)

ヘイルウッド工場と同等のラインを2014年11月に引き渡し完了(予定)

キャッスル・ブロムウィッチ工場(英国バーミンガム近郊)

2014年12月より3ライン目の据付工事を開始予定



ヘイルウッド工場にて稼働中の自動車ボディーパネル等成形用大型サーボプレスライン

高い生産性のみならず、高精度で安定した成形で優れたデザインを実現する当社のプレスラインが、同社の主力設備として活躍してまいります。

■ 社長インタビュー



を進めていきます。数値目標は、最終年度の連結業績における売上高 800 億円以上、営業利益 70 億円以上を目指します。詳細については、右ページをご参照ください。

当社グループは本計画の遂行により、グローバル市場におけるトップブランドを確立し、さらに素形材成形の新技术を追求していくことで、中長期的な成長を実現するためのさらなる事業基盤の強化と収益の拡大に取り組んでまいります。

Q 当第 2 四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください。

A 主要ユーザーである自動車関連業界の設備投資が堅調に推移中、当社グループは研究開発と海外生産体制を強化しつつ、販売面におけるグループ各社のグローバルな連携を図り、積極的な受注獲得に努めました。

その結果、日本国内と米州で自動車関連向け中・大型プレス機の受注・売上が増加し、連結業績は、売上高 341 億 6 千 3 百万円（前年同期比 7.2% 増）、営業利益 36 億 3 千万円（同 16.1% 増）、経常利益 37 億 8 千 4 百万円（同 9.0% 増）、四半期純利益 27 億 3 千 9 百万円（同 10.3% 減）となりました。なお四半期純利益の減益は、税務上繰越欠損金の解消に伴う税負担増等によるものです。

Q 4 月からスタートした新中期経営計画についてご説明願います。

A 創業 100 周年を迎える 2017 年 3 月期に向けて、新たな中期経営計画（3 年）をスタートさせ、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として、深化・追求する」をビジョンに掲げ、市場・顧客開拓、商品力強化およびグローバル化への邁進をテーマに、重点施策

Q 計画初年度となる 2015 年 3 月期の見通しはいかがですか。

A 2015 年 3 月期の連結業績は、5 期連続の増収増益を目指しております。上期は期初の計画値に対して、売上高が若干下回ったものの、利益面はこれを大幅に超える進捗となっています。新中期経営計画は、まずまずの好スタートを切ったと言えるでしょう。

この進捗状況を勘案し、当社グループは通期の営業利益および経常利益予想を上方修正しました。売上高 700 億円（前期比 0.6% 増）、営業利益 70 億円（同 10.8% 増）、経常利益 71 億円（同 5.7% 増）、当期純利益 52 億円（同 1.4% 増）を見込んでおります。

Q 最後に、株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループのグローバル化は、未だ成長途上にあります。市場の変化や技術革新の進展に先駆けて、新たなことに積極的にチャレンジし、グローバル市場での飛躍を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

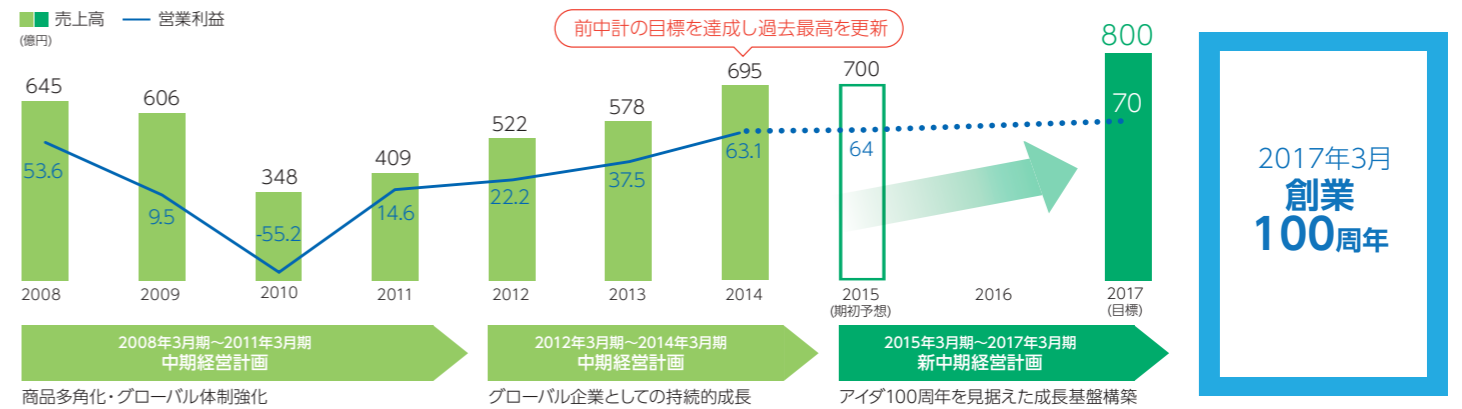
■ 新中期経営計画の概要

当社が提供する各種成形システムは、個々のお客さまのニーズに対応した「受注生産品」が中心であり、その需要状況は、ユーザー業界の設備投資動向などを通して、世の中の変化に大きく影響を受けます。

新中期経営計画は、そうした変化に対応し、持続的な成長を実現していくための事業基盤づくりを目的としています。創業 100 周年を迎える 2017 年 3 月期に向けて、私たちは新たなビジョンに基づく進化を遂げてまいります。

顧客創造と付加価値拡大を果たし、グローバル市場の未来へ

前中期経営計画までの業績推移と新中期経営計画における業績目標



2015年3月期～2017年3月期 新中期経営計画

新経営ビジョン

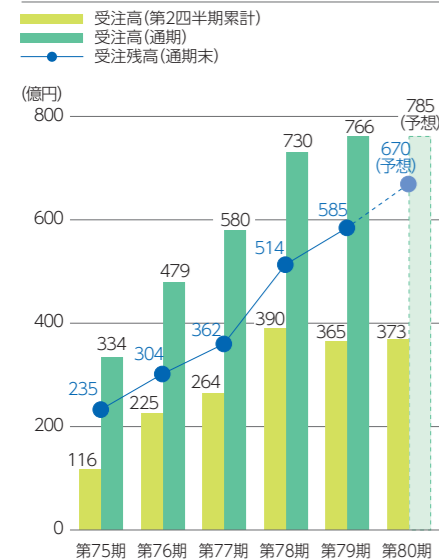
環境・省エネをモノづくりから支える
グローバル先進企業として、深化・追求する

アイダ 100 周年を見据えた成長基盤構築

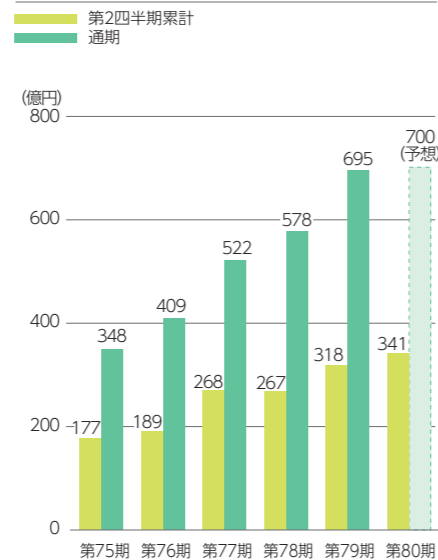
重要指針	更なる事業拡大を実現する基盤の構築	グローバル市場におけるトップブランドの確立	素形材成形の新技术追求
数値目標	売上高 2017年3月期までに 800 億円以上を目指す	営業利益 2017年3月期までに 70 億円以上を目指す	株主還元 連結配当性向 30% を目処に実施 (DOEも意識)
重点施策	市場・顧客開拓 ●テクニカルマーケティング強化 (技術営業力の最大活用) ●販売チャネルの多様化	商品力強化 ●基軸商品の拡充 ●サーボ化への更なる進化 ●新素材・新成形システムへの挑戦	グローバル化への邁進 ●グローバルネットワーク構築 ●グローバル生産体制の進化 ●グローバル人材の育成

■ 連結財務ハイライト

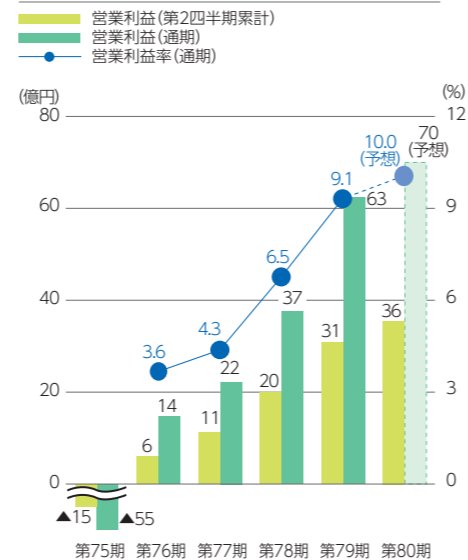
受注高/受注残高



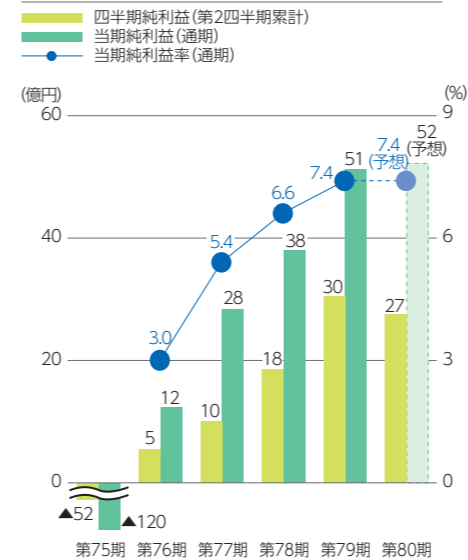
売上高



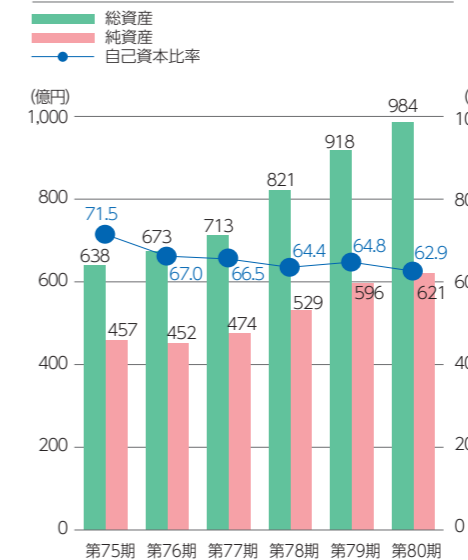
営業利益/営業利益率



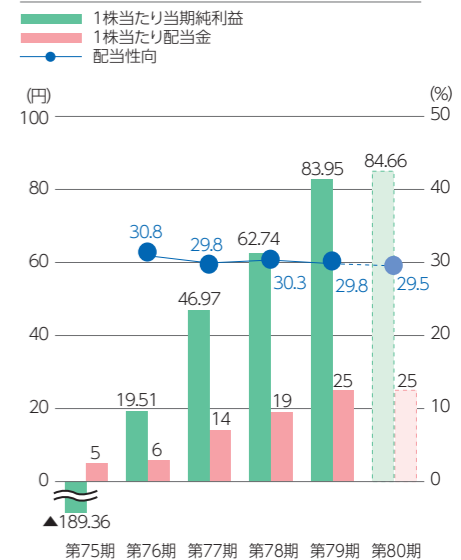
四半期(当期)純利益/当期純利益率



総資産/純資産/自己資本比率



1株当たり当期純利益/1株当たり配当金/配当性向



※第 80 期第 1 四半期において株式給付信託 (J-ESOP) に関する会計基準を変更したことに伴い、過年度については遡及適用した数値を使用しております。

■ 会社概要

商号 アイダエンジニアリング株式会社
 創業 1917年(大正6年)3月
 設立 1937年(昭和12年)3月
 資本金 78億31百万円
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 6118
 従業員数 1,782名(連結) 730名(単体)

■ 役員

代表取締役社長 会田 仁一
 取締役 中西 直義
 取締役 片岡 博道
 取締役 金村 貞行
 取締役 八木 隆
 取締役 ヤップ テック メン
 取締役 増田 健
 取締役(社外) 山崎 猛
 取締役(社外) 大磯 公男
 常勤監査役(社外) 松本 誠郎
 監査役(社外) 金井 洋
 監査役(社外) 巻之内 茂

■ WEB サイトのご案内



当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.aida.co.jp>



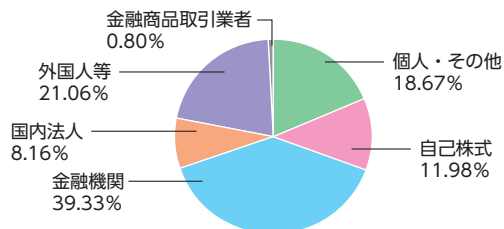
UD FONT
 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



■ 株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000 株
 発行済株式総数 73,647,321 株 (うち自己株式8,824,707株)
 株主数 7,576 名
 (注) 2014年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2014年5月30日に自己株式5,500,000株を消却いたしました。

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,456	6.87
第一生命保険株式会社	4,000	6.17
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3,395	5.24
日本生命保険相互会社	2,533	3.91
明治安田生命保険相互会社	2,516	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,275	3.51
株式会社みずほ銀行	2,179	3.36
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,760	2.72
会田 仁一	1,433	2.21
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	1,357	2.09

(注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(8,824,707株)を控除した株式数(64,822,614株)を基準に算出しております。
 3. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、株式給付信託(J-ESOP)における当社株式の再信託先です。

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 公告方法 電子公告により行います。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 【公告掲載URL】<http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html>
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

○株式に関するお手続きのお問合せ先
 株式に関するお手続き(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、下記をご参照ください。ただし、未払配当金につきましては、みずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル:0120-288-324)へお問合せください。

株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合 ▶ お取引の証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) ▶ みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル
TEL 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00-17:00)